

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3① 工事番号:

(第3評定者)

考査項目		a	a'	b	b'	c	d																																				
3. 出来形及び出来ばえ	ばらつき判定 80%以内	測定項目名	幅w1 10 点 7 点 9 点	①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	70% 90%	【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																					
I. 出来形																																											
	☑の計 0	<input type="checkbox"/>		【評価対象項目】																																							
		<input type="checkbox"/>		1. 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図表を工夫し、作成されていることが確認できる。																																							
		<input type="checkbox"/>		2. 不可視部分の出来形が写真・資料等での確に判断できる。																																							
		<input type="checkbox"/>		3. 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。																																							
		<input type="checkbox"/>		4. 写真管理基準の管理項目を満足している。																																							
		<input type="checkbox"/>		5. 出来形管理図、出来形結果表が漏れなく作成されている。																																							
		<input type="checkbox"/>		6. □5. を満足し、竣工図及び出来形管理図表が検測値に差違なく、適正に作成されていることが確認できる。																																							
		<input type="checkbox"/>		7. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。																																							
		-		8. その他(理由)																																							
	判定 a'	●判断基準		特記事項																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価対象項目</td> <td>5項目以上</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>4項目以上</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>3項目以上</td> <td>b'</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>3項目未満</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	評価対象項目	5項目以上	a	b	c	d	b	4項目以上	a'	b	c	d	b	3項目以上	b'	b'	c	d	b'	3項目未満	c	c	c	d	c				
		ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能																																					
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																						
評価対象項目	5項目以上	a	b	c	d	b																																					
	4項目以上	a'	b	c	d	b																																					
	3項目以上	b'	b'	c	d	b'																																					
	3項目未満	c	c	c	d	c																																					

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3② 工事番号: (第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																		
3.出来形及び出来ばえ	コンクリート 構造物 工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。						【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																	
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%																																				
	割合 15%	<input checked="" type="checkbox"/>	【評価対象項目】					①当該「評価対象項目」のうち、 評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%) 計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合はc評価とする。																																	
	の計 2	<input type="checkbox"/>	1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。																																						
	該当数 13	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)																																						
		<input type="checkbox"/>	5. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	6. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	7. 鉄筋の品質及び規格が、証明書類で確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	8. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	9. 鉄筋の組立・加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	10. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	12. スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																						
		<input type="checkbox"/>	13. クラックが無い。																																						
		-	14. その他(理由)																																						
判定	a	●判断基準																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c				
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能																																				
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																					
90%以上	a	a'	b	d	a'																																				
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																				
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																				
60%未満	b'	c	c	d	c																																				
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																							
		特記事項																																							

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3③ 工事番号:		(第3評定者)																																									
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																				
3.出来形及び出来ばえ	土工 土工 (切土・盛土・築堤等工事)	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																									
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																					
	割合 0%	【評価対象項目】 1. 雨水による崩壊及び流出等が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 2. 段切りを設計図書の仕様に基づき行っていることが確認できる。 3. 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 4. 締固めが設計図書の仕様で定められた条件を満足していることが確認できる。 5. 設計図書に定められた一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 6. 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 7. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 8. 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 9. CBR試験・締固め試験等の品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 10. 法面に有害な亀裂がない。 11. 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 12. その他(理由)																																									
	計 0																																										
	該当数 11																																										
	判定 a'	●判断基準																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	90%以上	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c	
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																					
	90%以上	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																						
90%以上	a	a'	b	d	a'																																						
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																						
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																						
60%未満	b'	c	c	d	c																																						
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																									
		特記事項																																									
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																									

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3③-2 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																					
3.出来形及び出来ばえ	土工事(河道開削工事)	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																										
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 点 7 点 9 点	70% 90%			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>																																					
	割合 0%	【評価対象項目】 1 土及び岩の分類の境界が確認できる。 2 施工中、滞水を生じないような排水状態を維持していることが確認できる。 3 建設発生土が設計図書または協議がなされた場所に処理されていることが確認できる。 4 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 5 河川管理施設、許可工作物等、他の施設の機能に支障を与えず、適切に施工していることが確認できる。 6 掘削順序、方向または高さ等について、承諾を得た上で施工していることが確認できる。 7 軟岩掘削及び硬岩掘削において、浮石等が残っていないことが確認できる。 8 掘削工の施工中において、地山の挙動を監視(目視点検含む)していることが確認できる。 9 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 10 法面に有害な亀裂がない。 11 上下流河床とのすり付けについて、適切に行っていることが確認できる。 12 その他(理由)。 13 その他(理由)						<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 </div>																																				
	該当数 11	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外		90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c	
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																						
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																								
90%以上	a	a'	b	d	a'																																							
75%以上90%未満	a	b	b'	d	b																																							
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																							
60%未満	b'	c	c	d	c																																							
	判定 b'	●判断基準						特記事項																																				

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3④ 工事番号:		(第3評定者)					
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う	
	割合 0%	【評価対象項目】					
	計 0	1. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。					
	該当数 15	2. 裏込材及び馴染めコンクリートは、設計図書の仕様を満足し、締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。					
		3. 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。					
		4. 石積(張)において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		5. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。					
		6. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		7. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		8. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		9. 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。					
		10.基礎工において、掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。					
		11.コンクリートブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。					
		12.施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。					
		13.埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		14.水抜き孔の施工にあたって、設計図書の定められた条件を満足していることが確認できる。					
		15.クラックが無い。					
		16.その他(理由)					
	判定 b'	●判断基準					
		ばらつきで判断可能		ばらつき判断不可能			
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外		
		a	a'	b	d	a'	
		a'	b	b'	d	b	
		b	b'	c	d	b'	
		b'	c	c	d	c	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。					
		特記事項					
		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑤ 工事番号: _____ (第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																			
3.出来形及び出来ばえ	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。						【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																		
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 点 7 点 9 点	70% 90%																																						
	割合 0%	【評価対象項目】 ■工場製作関係 1. 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 2. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 3. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 5. 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 6. 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 7. 塗装作業にあたり、塗布面に十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 8. 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 9. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 10. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 11. その他 (理由)																																								
	該当数 19	■架設関係 12. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 13. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 14. 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 15. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 16. 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 17. 架設に用いる仮設備及び架設用機材について、品質、性能が確保できる規模及び強度を有することを認識していることが確認できる。 18. 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 19. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 20. 現場塗装において、温度、湿度及びその他気象状態の確認を行っていることが確認できる。 21. その他 (理由)																																								
	判定 b'	●判断基準						①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>a'</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>c'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>d'</td> <td>d</td> <td>d</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	90%以上	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	a	a'	a'	b	d	a'	b	b'	b	b'	d	b	c	c'	c	c	d	b'	d	d'	d	d	d
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能																																				
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																					
a	a'	a'	b	d	a'																																					
b	b'	b	b'	d	b																																					
c	c'	c	c	d	b'																																					
d	d'	d	d	d	c																																					
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																								
		特記事項																																								

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑥ 工事番号:						(第3評定者)	
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					
II.品質		測定項目名	幅w1				
		①全測点数	10	点			
		②規格値の50%以内の数	7	点	70%		
		③規格値の80%以内の数	9	点	90%		
	ばらつき判定80%以内	【評価対象項目】 [共通]					
	割合0%	<input type="checkbox"/>	1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。				
	0の計0該当数23	<input type="checkbox"/>	2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)				
		<input type="checkbox"/>	5. コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行ってることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	6. 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	7. 鉄筋及び鋼材の品質及び規格が、証明書類で確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	8. クラックが無い。				
		<input type="checkbox"/>	9. その他(理由)				
		<input type="checkbox"/>	[砂防構造物工]				
		<input type="checkbox"/>	10. コンクリート打設まで、錆、泥、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	11. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	12. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	13. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	14. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	15. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	16. その他(理由)				
		<input type="checkbox"/>	[地すべり防止工(抑止杭、集水井戸工を含む)]				
		<input type="checkbox"/>	17. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	18. ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	19. ライナープレートと地山との間隙が少なくなるように施工していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	20. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び延長が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	21. 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	22. 杭の水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	23. 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	24. 既製杭の溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	25. 場所打杭の配筋、スパーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	26. その他(理由)				
	次ページに続く						

【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】
※ばらつきの判断は別紙-4参照。
別紙-3の作成は別紙-5により行う

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数()
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑥

工事番号:

3.出来形
及び
出来ばえ

砂防構造
物工事
及び
地すべり
防止工事

●判断基準

II.品質

判定

b'

		ばらつきで判断可能				ばらつき判断 不可能
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	d	a'
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'
	60%未満	b'	c	c	d	c

特記事項

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑦ 工事番号:						(第3評定者)	
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	舗装工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名	幅w1				
		①全測点数	10	点			
		②規格値の50%以内の数	7	点	70%		
		③規格値の80%以内の数	9	点	90%		
		【評価対象項目】					
		■路床工・路盤工関係					
割合		<input type="checkbox"/>	1. 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。				
0%		<input type="checkbox"/>	2. 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	3. 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
<input checked="" type="checkbox"/> の計		<input type="checkbox"/>	4. 路盤の安定処理は、材料が均一になるよう施工していることが確認できる。				
0		<input type="checkbox"/>	5. 路盤の施工に先立ち、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去していることが確認できる。				
該当数		<input type="checkbox"/>	6. 路床盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がり厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。				
27		<input type="checkbox"/>	7. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。				
		-	8. その他(理由)				
		■アスファルト舗装工関係					
		<input type="checkbox"/>	9. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	10. 舗装工の施工に先だち、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	11. プラント出荷時、現場到着時、舗設時毎に、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	12. 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	13. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書の仕様で定められた数値以上であることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	14. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	15. 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	16. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。				
		-	17. その他(理由)				
		■アスファルト舗装補修工関係					
		<input type="checkbox"/>	18. 施工に先立ち、現地を調査し、現況縦横断勾配の修正及び基準高等について、協議していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	19. 舗装工の施工に先立ち、切削後の表面の有害物等を除去し清掃していることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	20. 切削後の舗装面のクラックが適正に補修されていることが確認できる。				
		<input type="checkbox"/>	21. 路上再生工の施工にあたって、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
		-	22. その他(理由)				
	次ページに続く						

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑦

工事番号:

3.出来形
及び
出来ばえ

II.品質

■コンクリート舗装工関係	
□	23.コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
□	24.舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
□	25.コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
□	26.曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
□	27.施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
□	28.材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
□	29.チェアー及びタイヤを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
□	30.金網の施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
-	31.その他(理由)

判定

b'

●判断基準

評価値	90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外	
		a	a'	b	d	a'
		a'	b	b'	d	b
		b	b'	c	d	b'
		b'	c	c	d	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

特記事項

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-⑧ 工事番号:		a		a'		b		b'		c		d																																			
3.出来形及び出来ばえ	工種 海岸 工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																													
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数		幅w1 10 点 7 点 9 点		70% 90%				<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>																																					
	割合 0%	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																													
	計 0	【評価対象項目】 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 4. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 5. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 6. コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っていることが確認できる。 7. 破損、転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 8. 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 9. 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 10. 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び待避設備の対策を講じていることが確認できる。 11. クラックが無い。 12. その他(理由)																																													
	該当数 11	●判断基準																																													
	判定 b'	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">規格値外</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>												評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			規格値外	ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超		a	a'	b	d	a'		a'	b	b'	d	b		b	b'	c	d	b'		b'	c	c	d	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			規格値外	ばらつき判断不可能																																									
		50%以内	80%以内	80%超																																											
	a	a'	b	d	a'																																										
	a'	b	b'	d	b																																										
	b	b'	c	d	b'																																										
	b'	c	c	d	c																																										
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																													
		特記事項																																													

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑨

工事番号:

3. 出来形
及び
出来ばえ

II. 品質

- 現場打法枠工関係(プレキャスト枠工含む)
- 23.施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
- 24.使用する材料の種類、品質及び配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 25.アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 26.現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。
- 27.圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 28.枠内に空隙がないことが確認できる。
- 29.層間にはく離がないことが確認できる。
- 30.不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
- 31.クラックが無い。
- 32.その他(理由)
-
- アンカー、ロックボルト工
- 33.削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。
- 34.部材に錆、傷がないことが確認できる。
- 35.グラウト注入が適正に施工されていることが確認できる。
- 36.緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。
- 37.品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。

判定

b'

●判断基準

		ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外	
評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'
	60%未満	b'	c	c	d	c

特記事項

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑩ 工事番号:						(第3評定者)																																								
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																							
3.出来形及び出来ばえ	基礎工 工事 (地盤改良等を含む)	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																												
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名	幅w1																																											
		①全測点数	10	点																																										
		②規格値の50%以内の数	7	点	70%																																									
		③規格値の80%以内の数	9	点	90%																																									
		【評価対象項目】																																												
	割合	■杭工関係(コンクリート、鋼管、鋼管井筒、場所打、深礎等)																																												
	0%	1. 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。																																												
		2. 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。																																												
		3. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。																																												
	☑の計	4. 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。																																												
	0	5. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																												
	該当数	6. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。																																												
	16	7. 場所打杭について、トレー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。																																												
		8. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。																																												
		9. 配筋、スベークの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																												
		10. ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。																																												
		11. 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。																																												
		12. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。																																												
		13. その他(理由)																																												
		■地盤改良工関係																																												
		14. 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																												
		15. セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。																																												
		16. 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。																																												
		17. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。																																												
		18. その他(理由)																																												
	判定	●判断基準																																												
	b'	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th>ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能			50%以内	80%以内	80%超	規格値外		評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c
		ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能																																								
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																									
評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'																																								
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																								
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																								
	60%未満	b'	c	c	d	c																																								
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>																																												
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																												
		特記事項 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>																																												
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																												

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3① 工事番号: (第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																					
3.出来形及び出来ばえ	コンクリート橋工事(購入桁を含む)及びRCを対象	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。						【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																				
II.品質		測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 点 7 点 9 点	70% 90%																																								
	ばらつき判定 80%以内 割合 0% <input checked="" type="checkbox"/> の計 0 該当数 18	<input type="checkbox"/>						①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。																																				
	判定 b'	【評価対象項目】 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締めめ方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5. コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 6. 鉄筋(PC 鋼材含む)の品質及び規格が、証明書類で確認できる。 7. 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 9. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 10. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12. スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13. プレベーム桁のプレプレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 15. PC 鋼材の緊張及びグラウト注入管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16. プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認確認できる。 17. コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 18. クラックが無い。 19. その他(理由)																																										
		●判断基準						特記事項																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外		90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c	
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																						
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																								
90%以上	a	a'	b	d	a'																																							
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																							
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																							
60%未満	b'	c	c	d	c																																							
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																										

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑫ 工事番号: _____ (第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																				
3.出来形及び出来ばえ II.品質	塗装工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																									
	ばらつき判定	測定項目名		幅w1			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																				
	80%以内	①全測点数	10	点																																							
		②規格値の50%以内の数	7	点	70%																																						
		③規格値の80%以内の数	9	点	90%																																						
	割合	【評価対象項目】																																									
	0%	<input type="checkbox"/>	1. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。					①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。																																			
		<input type="checkbox"/>	2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。																																								
		<input type="checkbox"/>	3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。																																								
	☑の計	<input type="checkbox"/>	4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。																																								
0	<input type="checkbox"/>	5. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。計算の値で評価する。																																									
該当数	<input type="checkbox"/>	6. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる																																									
9	<input type="checkbox"/>	7. 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。																																									
	<input type="checkbox"/>	8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。																																									
	<input type="checkbox"/>	9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。																																									
	-	10. その他 (理由)																																									
判定	●判断基準																																										
b'	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外		評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c
	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																					
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																							
評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'																																					
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																					
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																					
	60%未満	b'	c	c	d	c																																					
	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																										
	特記事項																																										

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3(14) 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																				
3.出来形 及び 出来ばえ	植栽工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。						【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																			
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%																																						
	割合 0%	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 2. 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。 3. 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 4. 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 5. 肥料が、直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 6. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 7. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 8. 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 9. その他(理由)					①当該「評価対象項目」のうち、 評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%) 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() /対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合はc評価とする。																																			
	計 0 該当数 8	<input checked="" type="checkbox"/>																																									
	判定 b'	●判断基準		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外		90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c	
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																					
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																							
90%以上	a	a'	b	d	a'																																						
75%以上90%未満	a	b	b'	d	b																																						
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																						
60%未満	b'	c	c	d	c																																						
							特記事項																																				

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑩ 工事番号:		(第3評定者)																																									
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																				
3.出来形及び出来ばえ	公園・造園工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																									
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数		幅w1 10点 7点 9点	70% 90%	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>																																					
	割合 0%	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> </div>																																									
	計 0	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> </div>																																									
	該当数 5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> </div>																																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> </div>																																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> </div>																																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> </div>																																									
	判定 b'	●判断基準																																									
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外		90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																					
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																							
90%以上	a	a'	b	d	a'																																						
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																						
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																						
60%未満	b'	c	c	d	c																																						
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 100px;"> 特記事項 </div>																																									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																									

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑩ 工事番号:						(第3評定者)	
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	下水道工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%		
	割合 0%	【評価対象項目】					①当該「評価対象項目」のうち、 評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%) 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() /対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合はc評価とする。
	☑の計 0	1. 品質管理において、設計図書の定めているとおりに行われており、かつ満足していることが確認出来る。					
	該当数 22	2. 材料の品質及び規格が、設計図書の仕様を満足していることが証明書類で確認できる。					
		3. 管渠工の設置において、設計図書の定めのとおり行われていることが確認でき、かつ目立った屈曲や沈下が無いことが確認出来る。					
		4. 管渠に影響を与えるクラック及び変形がないことが確認できる。					
		5. 管渠において漏水箇所がないことが確認できる。					
		6. 管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がないことが確認できる。					
		7. 管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		8. 掘進機に関する諸機能等の詳細図、仕様及び応力計算書の提出がされていることが確認できる。					
		9. 推進管の方向・勾配の測量、路面及び近接構造物の水準測量、ジャッキ圧の測定、支圧壁・土留壁の状況、土質状況の変化、推進管の状況等の測定・観測が行われていることが確認できる。					
		10. 切羽の泥水圧または土圧、排土量、推力、管中心位置、掘進量、作業時間等を毎日記録していることが確認できる。					
		11. 推進管工等の裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。					
		12. マンホール工において、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されていることが確認できる。					
		13. マンホール工において、各部材にはクラック及び漏水がないことが確認できる。					
		14. マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、また、鉄蓋設置においては、ガタツキがなく、仕上がりが天端高も適正であることが確認できる。					
		15. インバート工は形状、勾配が設計図書の仕様を満足し、漏水がないことが確認できる。					
		16. インバート工は、その表面仕上げが適切であることが確認できる。					
		17. 掘削時の土留め方法や推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響が無かったことが確認できる。					
		18. 埋戻工において、締め固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られないことが確認できる。					
		19. 舗装復旧において、その施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
		20. 立坑等(指定架設物)の施工及び仕様材料において、設計図書の定められているとおりに行われていることが確認できる。					
		21. 地盤改良工において、使用材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の使用を満足していることが確認できる。					
		22. クラックが無い。					
		23. その他 (理由)					
	次ページに続く						

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑩

工事番号:

3.出来形
及び
出来ばえ

判定
b'

●判断基準

II.品質

		ばらつきで判断可能				ばらつき判断 不可能
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	d	a'
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'
	60%未満	b'	c	c	d	c

特記事項

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3(9) 工事番号:						(第3評定者)	
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	改良・舗装工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>	
	割合 0%	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 </div>					
	計 0 該当数 29	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【評価対象項目】 ■共通 1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 2. 使用する材料の規格がミルシート等で確認できる。 ■土工・路盤関係 3. 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 4. 置き換えのための、掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 5. 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが認できる。 6. 路床・路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 8. 路盤工の施工に先だて、路床面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 9. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 10. 盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がり厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 11. 補強盛土工等の施工について、設計図書の定めのとおり施工していることが確認できる。 12. その他 (理由) ■コンクリート関係 13. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 14. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 15. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 16. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 17. その他 (理由) ■芝・側溝等・付帯構造物等関係 18. 芝又は種子吹付等を適切に施工していることが確認できる。 19. 法面にクラックや損傷部がないことが確認できる。 20. 側溝等にクラックや欠損がないことが確認できる。 21. 側溝等の施工(設置)位置・方向が適正で、蓋設置においてはガタツキが無いことが確認できる。 22. 側溝等底部の凹凸や蛇行がなく施工がされており、側溝の接続と目地が適切に行われていることが確認できる。 23. 付帯構造物等の施工について、設計図書の定めのとおり施工していることが確認できる。 24. その他 (理由) </div>					
	次ページに続く						

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑭

工事番号:

3.出来形
及び
出来ばえ

II.品質

- アスファルト舗装関係
- 25.アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
 - 26.舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去してから施工していることが確認できる。
 - 27.プラント出荷時・現場到着時・舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
 - 28.舗設後の交通解放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
 - 29.各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた位置に数値以上であることが確認できる。
 - 30.密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
 - 31.縦目地及び横目地の位置・構造物との接合面の処理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
 - 32.アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
 - 33.その他（理由）

判定

b'

●判断基準

		ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外	
評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'
	60%未満	b'	c	c	d	c

特記事項

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3②		工事番号:						(第3評定者)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	
3.出来形及び出来ばえ	橋梁補修工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。						【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%			
		【評価対象項目】						①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
		■共通						
割合	0%	<input type="checkbox"/>	1. 工事を実施する前に現場調査を十分調査し、実態にあった補修方法を選択し、監督員と協議して行っていること確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	2. 補修時の天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、施工していることが確認できる。					
☑の計	0	<input type="checkbox"/>	3. 使用材料の品質及び規格について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
該当数	34	<input type="checkbox"/>	4. 施工状況の経過が写真等で確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	5. クラックや破損が無い。					
		<input type="checkbox"/>	6. その他(理由)					
		<input type="checkbox"/>	■コンクリート補修					
		<input type="checkbox"/>	7. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	8. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	9. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)					
		<input type="checkbox"/>	10. 錆汁や鉄筋が露出し錆が確認されている箇所は、確実に錆を落とし、防錆材を塗布して補修していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	11. 鉄筋が錆びて鉄筋断面がやせ細っている箇所は、補強鉄筋が実施されていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	12. その他(理由)					
		<input type="checkbox"/>	■塗装補修					
		<input type="checkbox"/>	13. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	14. ケレンを入念に実施していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	15. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	16. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	17. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	18. 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	19. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。					
		<input type="checkbox"/>	20. その他(理由)					

次ページに続く

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3⑩

工事番号:

3.出来形
及び
出来ばえ

II.品質

- 舗装補修
 - 21.アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
 - 22.プラント出荷時、現場到着時、舗設時毎において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
 - 23.舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
 - 24.アスファルトの密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
 - 25.アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
 - 26.その他（理由）
- 高欄補修
 - 27.アンカーの深さ管理について、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。
 - 28.アンカー鉄筋の削孔により、既存地覆鉄筋に支障が無いように事前調査が確実に実施されていることが確認できる。
 - 29.支柱の配置が適切に行われ、レールの通りが良いことが確認できる。
 - 30.その他（理由）
- 支承補修
 - 31.支承の交換に必要な部品等が適正に材料検収され、その記録が整理されていることが確認できる。
 - 32.桁のジャッキアップに必要な仮設ブラケット等の撤去後の復旧が適正に実施されていることが確認できる。
 - 33.無収縮モルタルについて、事前に品質試験(証明書も可)が実施されていることが確認できる。
 - 34.アンカーボルトの削孔長が、設計図書の定めのとおり施工していることが確認できる。
 - 35.しゅう座モルタルの仕上げが丁寧であることが確認できる。
 - 36.その他（理由）
- 伸縮装置補修
 - 37.アンカーの深さ管理について、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。
 - 38.アンカー鉄筋の削孔により、床版鉄筋に支障が無いように事前調査が確実に実施されていることが確認できる。
 - 39.伸縮装置の遊間管理が、設計図書の定めのとおり行われていることが確認できる。
 - 40.製品が錆等により腐食していないことが確認できる。
 - 41.その他（理由）

判定

b'

●判断基準

評価値		ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外	
評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'
	60%未満	b'	c	c	d	c

特記事項

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:		(第3評定者)					
1	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形 及び 出来ばえ	落石及び 雪害防止 工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 点 7 点 9 点	70% 90%			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う</p> </div>
	割合 0%	【評価対象項目】 [共通]					
	計 0	<input type="checkbox"/> 1. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 鋼材の規格が、ミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. その他(理由)					
	該当数 26	[落石防止網工] <input type="checkbox"/> 4. アンカーの削孔深さ、削孔角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 金網の重ね幅が仕様書又は協議等により定められた幅以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 金網、ワイヤロープ等の配置が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他(理由)					
		[落石防護柵工] <input type="checkbox"/> 10. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 切土法面が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. その他(理由)					
		[防雪柵工] <input type="checkbox"/> 16. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. その他(理由)					
		[雪崩予防柵工] <input type="checkbox"/> 21. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 基礎設置箇所について、地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. その他(理由)					
	次ページに続く	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、 評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%) 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() /対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>					

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3②	工事番号:																																									
3.出来形 及び 出来ばえ		[アンカー、ロックボルト工]																																								
		□	27. 削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。																																							
		□	28. 部材に錆、傷がないことが確認できる。																																							
		□	29. グラウト注入が適正に施工されていることが確認できる。																																							
II.品質		□	30. 緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。																																							
		□	31. 品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。																																							
		-	32. その他(理由)																																							
	判定	●判断基準																																								
	b'																																									
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c
		ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能																																				
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																				
	60%未満	b'	c	c	d	c																																				
		<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>																																								
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>																																								

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3② 工事番号:		(第3評定者)																																									
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																				
3.出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																									
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>																																					
	割合 0%	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【評価対象項目】 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 </div>																																									
	計 0	1. 使用材料の品質及び規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 3. 管路の通過試験を行っており、試験結果から導通していることが確認できる。 4. 構造物の埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等がないよう敷設していることが確認できる。 6. 蓋の設置において、ガタツキ等が無く敷設されていることが確認できる。 7. 管理設において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 8. 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. その他(理由)																																									
	該当数 8	●判断基準																																									
	判定 b'	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外		90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																					
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																							
90%以上	a	a'	b	d	a'																																						
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																						
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																						
60%未満	b'	c	c	d	c																																						
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																									
		特記事項																																									

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3② 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	細別	判定項目	評価対象項目 (a, a', b, b', c判定を「○」「×」「該当なし」、d判定を「-」「該当」から選択)	コメント・備忘録	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	a, a', b, b', c	○ 1. 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。		
			○ 2. 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。		
			○ 3. 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。		
			○ 4. 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。		
			○ 5. 出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。		
			○ 6. 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。	出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。	
			○ 7. 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。		
			○ 8. 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。		
					d判定
			d判定	- 10. 出来形が不適切であった為、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。	
				- 11. その他()	

該当項目が90%以上
 a(出来形が特に優れている)
 該当項目が80%以上90%未満
 a'(出来形が優れている)
 該当項目が70%以上80%未満
 b(出来形が特に良好である)
 該当項目が60%以上70%未満
 b'(出来形が良好である)
 該当項目が60%未満
 c(出来形が適切である)
 d判定項目に該当がある場合
 d(出来形が適切でなく不適合に該当する)

9 / 9 = 100%

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:

(第3評定者)

建築関係

考査項目	細別	判定項目	評価対象項目 (a, a', b, b', c判定を「○」「×」「該当なし」、d判定を「-」「該当」から選択)		コメント・備忘録
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	a, a', b, b', c	○	1. 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	
			○	2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。	
			○	3. 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。	
	総合判定 a	判定 a 100%	○	4. 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。	
			○	5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。	
			○	6. 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。	
			○	7. 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。	
			○	8. 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。	
			○	9. その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。	
			○	10. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。	①目的物の品質の水準を評価すること。 ①品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したものの(システムを含む)」があり、工事的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。
			○	11. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	
			○	12. その他(理由:)	
			-	13. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。	
			-	14. その他()	
該当項目が90%以上 a(品質が特に優れている) 該当項目が80%以上90%未満 a'(品質が優れている) 該当項目が70%以上80%未満 b(品質が特に良好である) 該当項目が60%以上70%未満 b'(品質が良好である) 該当項目が60%未満 c(品質が適切である) d判定項目に該当がある場合 d(品質が適切でなく不適合に該当する)		d判定			

12 / 12 =100%

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3② 工事番号:

(第3評定者)

電気通信関係

考査項目	細別	判定項目	評価対象項目(a, a', b, b', c判定を「○」「×」「該当なし」、d判定を「-」「該当」から選択)		コメント・備忘録
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	a, a', b, b', c	○	1. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	
			○	2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。	
			○	3. 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。	
	総合判定 a	判定 a 100%	○	4. 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。	
			○	5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。	
			○	6. 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。	
			○	7. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。	
			○	8. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。	
			○	9. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。	
			○	10. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	
			○	11. 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。	
			○	12. その他(理由:)	
			-	13. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。	①目的物の品質の水準を評価すること。 ①品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。
			-	14. その他()	

12 / 12 =100%

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:

(第3評定者)

機械設備関係

考査項目	細別	判定項目	評価対象項目(a, a', b, b', c判定を「○」「×」「該当なし」、d判定を「-」「該当」から選択)		コメント・備忘録	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	a, a', b, b', c	○	1. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。		
			○	2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。		
			○	3. 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。		
	総合判定 a	判定 a	100%	○	4. 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。	
				○	5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。	
				○	6. 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。	
				○	7. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。	
				○	8. システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に、工夫がある。	
				○	9. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。	
				○	10. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	①目的物の品質の水準を評価すること。 ①品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。
				○	11. 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。	
				○	12. その他(理由:)	
				○	13. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づく修補指示を検査員が行った。	
						d判定

12 / 12 =100%

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:		(第3評定者)																																									
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																				
3.出来形及び出来ばえ	管類敷設工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																									
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																					
	割合 0%	【評価対象項目】 1. 設計図書等で示す条件により締固めが実施されていることが確認できる。 2. 管の両側が均等に埋め戻されていることが確認できる。 3. 地盤面、基盤面に不陸が生じていないことが確認できる。 4. 管布設は(原則として)低位部から高位部へ向かって施工していることが確認できる。 5. 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 6. コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 7. 付帯構造物(排気弁や仕切弁、マンホール等)の維持管理が容易になるように配慮し、適切に施工していることが確認できる。 8. コンクリート付帯構造物にはクラックがない。 9. その他(理由:)																																									
	計 0																																										
	該当数 8																																										
	判定 b'	●判断基準																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>75%以上90%未満</th> <th>60%以上75%未満</th> <th>60%未満</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	60%未満	規格値外		a	a'	b	d	a'		a'	b	b'	d	b		b	b'	c	d	b'		b'	c	c	d	c	
評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能																																					
	90%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	60%未満	規格値外																																						
	a	a'	b	d	a'																																						
	a'	b	b'	d	b																																						
	b	b'	c	d	b'																																						
	b'	c	c	d	c																																						
		特記事項																																									
		<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																																									

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:						(第3評定者)	
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う </div>	
	割合 0%	【評価対象項目】 [区画整理工事] (整地工)					
	計 0	<input type="checkbox"/> 1. 地区内の地表水及び地下水を排除し良好な排水状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 表土扱いにあたり、雑物等が混入しないように実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 湧り等の防止に十分留意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 畦畔は、適正な土質を使用して十分に締め固められている。 <input type="checkbox"/> 5. その他(理由:					
	該当数 31	(道路工) <input type="checkbox"/> 6. 道路築立にあたっては、泥濘化を防止し、締固めを十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路面面が十分に不陸整正されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 路面の中央部が高く、横断勾配を取って施工されている。 <input type="checkbox"/> 9. 敷砂利材料の敷均しは、砕石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 10. その他(理由:					
		(用・排水路工) <input type="checkbox"/> 11. 施工基面は、土質が適正か確認が出来て、かつ、良好な排水状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 埋戻しは、雑物等が混入せず、良好な(過湿・過乾燥・凍土状態でない)状態で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 付帯構造物(合流工、落差工等)は、現場に合わせて適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 水路の目地やマチ部の処理が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 二次製品の現場検収において、入出荷方法や製品状況をチェックしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 17. その他(理由:					
		[暗渠排水・湧水処理工事] <input type="checkbox"/> 18. 表土と基盤土の混合を防止していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 被覆材の厚さを写真、資料等での確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 配管接合部において、確実に接合されていることが写真・資料等での確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 施工後に大幅に沈下しない状態(高含水土や凍土混入等でない)で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 埋戻し後、田面の沈下やわだち、被覆材の散らばり等が少なく、いかに施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 構造物(水閘部等)は、維持管理も容易になるよう考慮し適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. その他(理由:					
	次ページに続く	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>					

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔

工事番号:

3. 出来形
及び
出来ばえ

II. 品質

- 25. 石礫等の雑物が混入されていないことが確認できる。
- 26. 田面は、良好な排水状態で施工していることが確認できる。
- 27. 客土運搬量を、出来形のほかにその他資料(土取場の測量、運搬車両台数等)で確認できる。
客土運搬量を、出来形のほかにその他資料(運搬車両台数等)で確認できる。
- 28. 運搬道路の防塵や路面損傷防止等の対策をし、破損させた箇所は原形復旧している。
- 29. 公道運搬での交通安全対策や過積載についての自社の基準を設定・管理し、それを記録にとどめている。
- 30. 気象条件に合わせて作業中止基準を自社で設定・管理し、それを記録にとどめている。
- 31. その他(理由:
-)
- [敷砂利工事]*敷砂利工事のみ適用
- 32. 路床面が十分に不陸整正されていることが確認できる。
- 33. 路面の中央部が高く、横断勾配を取って施工されている。
- 34. 敷砂利材料の敷均しは、砕石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。
- 35. 敷砂利材料は鉄線等有害な異物の混入が少なくなるよう努力して施工していることが確認できる。
- 36. 路肩等に路面排水対策が自社の工夫により施工されている。
- 37. その他(理由:
-)

・[採取土の場合]
・[購入土の場合]

判定

●判断基準

b'

		ばらつきで判断可能				ばらつき判断 不可能
		50%以内	80%以内	80%超	規格値外	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	d	a'
	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'
	60%未満	b'	c	c	d	c

特記事項

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号: _____ (第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																				
3.出来形及び出来ばえ	コンクリート二次製品 水路工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																									
II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																					
	割合 0%	□	【評価対象項目】																																								
	計 0	□	1. 施工基面は、土質が適正であるか確認が出来て、かつ、良好な排水状態であることが確認できる。																																								
	該当数 8	□	2. 埋戻しは、雑物等が混入せず、良好な(過湿・過乾燥・凍土状態でない)状態で施工されていることが確認できる。																																								
		□	3. 水路の目的(用・排水、道路用等)を考慮して、配置や構造物とのすり付けなどが適切に施工されていることが確認できる。																																								
		□	4. 水路の目地やマチ部は、水はねや水漏れが無いようにいねいに施工されている。																																								
		□	5. コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。																																								
		□	6. 二次製品の吊り込み、据付の際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。																																								
		□	7. 二次製品の現場検取において、入出荷方法や製品状況をチェックしていることが確認できる。																																								
		□	8. クラックがない。																																								
		-	9. その他(理由):																																								
	判定 b'	●判断基準																																									
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	90%以上	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c	特記事項 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>	
評価値	ばらつきで判断可能						ばらつき判断不可能																																				
	90%以上	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																						
90%以上	a	a'	b	d	a'																																						
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																						
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																						
60%未満	b'	c	c	d	c																																						
		①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																									

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:		(第3評定者)																																										
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																					
3.出来形及び出来ばえ	水路補修工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。					【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																					
	II.品質	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10点 7点 9点	70% 90%																																							
	割合 0%	□	【評価対象項目】 ■共通					①当該「評価対象項目」のうち、 評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%) 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() /対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合はc評価とする。																																				
	計 0	□	1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ、現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。																																									
	該当数 12	□	2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。																																									
		□	3. 気象条件に応じた施工方法で施工されていることが確認できる。																																									
		□	4. 部材の洗浄・下地処理が適切に行われていることが確認できる。																																									
		□	5. 養生の期間・現場条件が適切になされていることが確認できる。																																									
		-	6. その他(理由):																																									
		□	■開水路補修工																																									
		□	7. 補修材が当該既設構造物へしっかり密着(規程の付着強度等をクリアされている)されていることが確認できる。																																									
		□	8. 目地の対策が適切に施工されていることが確認できる。																																									
		□	■管更正工																																									
		□	9. 規定の厚さで施工されていることが確認できる。																																									
		□	10. 施工後の規定断面が確保されていることが確認できる。																																									
		□	11. 管更正材が当該既設構造物へしっかり密着(規定の付着強度等をクリアされている)されていることが確認できる。																																									
		□	12. 各種耐用試験結果(曲げ強度試験他)にクリアしていることが確認できる。																																									
		□	13. 曲線部の施工では弛みが無いことが確認できる。また、施工上、やむを得ない出来た弛みも適切な方法により対処したことが確認できる。																																									
	判定 b'	●	●判断基準																																									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="5">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能					ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外		90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c			
評価値	ばらつきで判断可能						ばらつき判断不可能																																					
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																								
90%以上	a	a'	b	d	a'																																							
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																							
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																							
60%未満	b'	c	c	d	c																																							
			特記事項																																									

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3③ 工事番号: _____ (第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																						
3.出来形及び出来ばえ II.品質	上記以外の工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきから判断する。																																											
	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																							
	割合 0%	-					①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 対象評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																						
	計 0 該当数 0	-																																											
	判定 b'	●判断基準																																											
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'		75%以上90%未満	a	b	b'	d	b		60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'		60%未満	b'	c	c	d	c	
	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能																																								
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																									
評価値	90%以上	a	a'	b	d	a'																																							
	75%以上90%未満	a	b	b'	d	b																																							
	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																							
	60%未満	b'	c	c	d	c																																							
		<p>※既様式では評価したい場合に適宜評価項目を設定する</p> <p>特記事項</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>																																											

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3④ 工事番号: _____ (第3評定者)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																																
3.出来形及び出来ばえ II.品質	多工種 複合工事	□ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。																																					
	ばらつき判定 80%以内	測定項目名 ①全測点数 ②規格値の50%以内の数 ③規格値の80%以内の数	幅w1 10 7 9	点 点 点	70% 90%	【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う																																	
	割合 0%	【評価対象項目】																																					
	☑の計 0 該当数 0	主たる工種	該当項目数	対象評価項目数																																			
	判定 a	i) 別紙-3 () () ()																																					
		ii) 別紙-3 () () ()																																					
		iii) 別紙-3 () () ()																																					
		合計	(0)	(0)																																			
		※本様式は、多工種で評定対象が重要な場合に、それぞれに該当する様式を複数選択し評価する場合に使用する。																																					
		●判断基準				特記事項																																	
		<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつき判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%超</th> <th>規格値外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>d</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能	50%以内	80%以内	80%超	規格値外	90%以上	a	a'	b	d	a'	75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b	60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'	60%未満	b'	c	c	d	c		
評価値	ばらつきで判断可能				ばらつき判断不可能																																		
	50%以内	80%以内	80%超	規格値外																																			
90%以上	a	a'	b	d	a'																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	d	b																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	d	b'																																		
60%未満	b'	c	c	d	c																																		

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㊟ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	工 種	a		b	c	d
		優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3.出来形及び出来ばえ III.出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	判定 c	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4. クラックが無い。 5. 漏水が無い。 6. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
	土工事 (盛土・築堤等工事)	判定 c	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 仕上げが良い。 2. 通りが良い。 3. 天端及び端部処理が良い。 4. 構造物へのすりつけ等が良い。 5. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項	
	土工事(切土)	判定 c	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 規定された勾配が確保されている。 2. 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されるなど、適切に施工されている。 3. 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 4. 滞水等による施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 5. 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 6. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
	土工事(河道開削)	判定 c	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 規定された縦横断勾配が確保されている。 2. 河積を阻害する転石等が除去されるなど、平坦(または適切)に施工されている。(魚巢等の目的を有する転石を除く) 3. 法面・河床勾配の変化部について、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。 4. みお筋の通り(平面線形)が良い。 5. 関係構造物との取り合いが適切に施工されている。 6. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
	護岸・根固・水制工事	判定 c	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 通りが良い。 2. 材料のかみ合わせがよく安定している。 3. 天端及び端部の仕上げが良い。 4. 既設構造物とのすりつけが良い。 5. 曲線部や縦断勾配の急な箇所施工が良い。 6. 吸い出しやクラックが無い。 7. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当6項目以上・a、該当5項目・b、該当4項目・c、該当3項目以下・d 特記事項	
	地すべり防止工事 (集水井戸工事を含む)	判定 c	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 地山との取り合いが良い。 2. 天端及び端部の仕上げが良い。 3. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4. 仕上がりが丁寧できめ細かい。 5. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項	

判定
※選択した工種の判定を選択

a

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号: (第3評定者)

考査項目	工種	a		b		c		d	
		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
III. 出来ばえ	鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 表面に補修箇所がない。 2. 部材表面に傷及び錆が無い。 3. 溶接に均一性がある。 4. 塗装に均一性がある。 5. 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・・a、該当3項目・・b、該当2項目・・c、該当1項目以下・・d			
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	特記事項			
	舗装工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 舗装の平坦性が良い。 2. 構造物の通りが良い。 3. 端部処理が良い。 4. 構造物へのすりつけ等が良い。 5. 雨水処理が良い。 6. 縦目等の離れや舗装面の剥がれが無い。 7. 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当6項目以上・・a、該当5項目・・b、該当4項目・・c、該当3項目以下・・d			
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	特記事項			
	法面工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 通りが良い。 2. 植生、吹付等の状態が均一である。 3. 端部処理が良い。 4. 仕上げが丁寧できめ細かい。 5. 亀裂やクラックが無い。 6. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 7. 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当6項目以上・・a、該当5項目・・b、該当4項目・・c、該当3項目以下・・d			
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	特記事項			
	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 土工関係の仕上げが良い。 2. 通りが良い。 3. 天端及び端部の仕上げが良い。 4. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 5. 仕上げが丁寧できめ細かい。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・・a、該当3項目・・b、該当2項目・・c、該当1項目以下・・d			
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	特記事項			
コンクリート橋工事 (PC(購入桁を含む)及びRRCを対象) コンクリート製シェッド工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端及び端部の仕上げが良い。 4. 支承部の仕上げが良い。 5. クラックが無い。 6. 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当5項目以上・・a、該当4項目・・b、該当3項目・・c、該当2項目以下・・d				
	☑の計 0	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	特記事項				
塗装工事 (工場塗装を除く)	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 塗装の均一性が良い。 2. 細部まできめ細かい施工がされている。 3. 補修箇所がない。 4. ケレンの施工状況が良好である。 5. 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・・a、該当3項目・・b、該当2項目・・c、該当1項目以下・・d				
	☑の計 0	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	特記事項				
植栽工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 樹木の活着状況が良い。 2. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 3. 支柱の取り付けが堅固である。 4. 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当3項目以上・・a、該当2項目・・b、該当1項目・・c、該当項目無し・・d				
	☑の計 0	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	特記事項				

6

6

判定
※選択した工種の判定を選択
c

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㊸ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	工種	a		b	c	d
		優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3.出来形及び出来ばえ III.出来ばえ	防護柵工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	【評価対象項目】 1. 通りが良い。 2. 端部処理が良い。 3. 部材表面に傷及び錆が無い。 4. 既設構造物等とのすりつけが良い。 5. きめ細やかに施工されている。 6. 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d	特記事項
	標識工事	判定 c	<input type="checkbox"/>		●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d	
	区画線等配置工事	判定 c	<input type="checkbox"/>		●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d	
	公園・造園工事	判定 c	<input type="checkbox"/>		●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d	
	下水道工事	判定 c	<input type="checkbox"/>		●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d	
	港湾築造工事 (海岸築造工事を含む)	判定 c	<input type="checkbox"/>		●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d	
港湾浚渫工事 (地盤改良工事を含む)	判定 c	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d			

判定
※選択した工種の判定を選択
c

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	工種	a		b		c		d		
		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている		
3.出来形及び出来ばえ III.出来ばえ	改良・舗装工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			【評価対象項目】 1. 構造物の通りが良い。 2. 天端及び端部の仕上げが良い。 3. 構造物等へのすりつけが良い。 4. 舗装の平坦性が良い。 5. 雨水処理が良い。 6. 全体的な美観が良い。						●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
			【評価対象項目】 1. コンクリート補修が確実に実施され、かつ肌が良い。 2. 天端及び端部の仕上げが良い。 3. 仕上げが丁寧できめ細かい。 4. 表面に凸凹が無く、平滑に仕上げられ、通りが良い。 5. クラックや損傷が無い。 6. 全体的な美観が良い。						●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
			【評価対象項目】 1. 通りが良い。 2. 端部処理が良い。 3. きめ細かに施工されている。 4. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 5. クラックが無い。(コンクリート工事が含まれる場合) 6. 全体的な美観が良い。						●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
	電線共同溝工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			【評価対象項目】 1. 構造物の通りが良い。 2. 構造物へのすりつけ等が良い。 3. きめ細かに施工されている。 4. 製品にクラックや欠損が無い。 5. 全体的な美観が良い。						●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項	
	維持修繕工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			【評価対象項目】 1. 小構造物等にも細心の注意が払われている。 2. きめ細かに施工されている。 3. 既設構造物とのすりつけが良い。 4. 全体的な美観が良い。						●判断基準 該当3項目以上・a、該当2項目・b、該当1項目・c、該当項目無し・d 特記事項	

判定
※選択した工種の判定を選択

c

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	細別	判定項目	評価対象項目 (a,b,c判定を「○」「×」「該当なし」、d判定を「-」「該当」から選択)		コメント・備忘録	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	a, b, c	○	1. きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。	①全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。 ②出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ③評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。 ④建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。	
			○	2. 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。		
			○	3. 使い勝手や使用者に対する安全及び環境に対する配慮に優れている。		
			○	4. 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。		
	総合判定	a	判定	○		5. 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。
			100%	○		6. 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。
			○	7. 保全に配慮した施工がなされている。		
			○	8. その他(理由:)		
			d判定	-		9. 出来ばえが劣っている。

該当項目が90%以上
 a(全体的な完成度が優れている)
 該当項目が80%以上90%未満
 b(全体的な完成度が良好である)
 該当項目が80%未満
 c(全体的な完成度が適切である)
 d判定項目に該当がある場合

8 / 8 = 100%

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3④ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	細別	判定項目	評価対象項目 (a,b,c判定を「○」「×」「該当なし」、d判定を「-」「該当」から選択)		コメント・備忘録
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 総合判定 a	a, b, c	○	1. きめ細やかな施工がなされている。	①全体的な仕上がり状態、機能の評価する。 ②出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ③評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。 ④建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。
		判定	○	2. 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。	
		a	○	3. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。	
		100%	○	4. 使用者への安全に対する配慮及び環境負荷低減への対策が優れている。	
		○	5. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。		
		○	6. その他(理由:)		
		d判定	-	7. 出来ばえが劣っている。	

該当項目が90%以上
a(全体的な完成度が優れている)
該当項目が80%以上90%未満
b(全体的な完成度が良好である)
該当項目が80%未満
c(全体的な完成度が適切である)
d判定項目に該当がある場合
d(全体的な完成度が劣っている)

6 / 6 =100%

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3④ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	細別	判定項目	評価対象項目 (a,b,c判定を「○」「×」「該当なし」、d判定を「-」「該当」から選択)		コメント・備忘録
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 総合判定 a	a, b, c	○	1. きめ細やかな施工がなされている。	①全体的な仕上がり状態、機能の評価する。 ②出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ③評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。 ④建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。
		判定	○	2. 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。	
		a	○	3. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。	
		100%	○	4. 使用者への安全に対する配慮及び環境負荷低減への対策が優れている。	
		○	5. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。		
		○	6. その他(理由:)		
		d判定	-	7. 出来ばえが劣っている。	

該当項目が90%以上
 a(全体的な完成度が優れている)
 該当項目が80%以上90%未満
 b(全体的な完成度が良好である)
 該当項目が80%未満
 c(全体的な完成度が適切である)
 d判定項目に該当がある場合
 d(全体的な完成度が劣っている)

6 / 6 =100%

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	工 種	a		b		c		d	
		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
3.出来形及び出来ばえ III.出来ばえ	管類布設工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			【評価対象項目】 1. 通りが良い。 2. 付属構造物の肌が良い。 3. 構造物とのすりつけが良い。 4. 仕上がりが良い。 5. 埋め戻しの状態が良い。						●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項
			【評価対象項目】 ■区画整理工事 ※区画整理工事として複合して評価が必要な場合に適用する 1. 全体的な美観に優れている。 2. 整地工の仕上がりが良い。 3. 道路工の仕上がりが良い。 4. 水路工の仕上がりが良い。 5. 構造物等のすりつけが良い。 6. 構造物とのすりつけが良い。 7. 地区外とのすりつけが良い						●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項
			【評価対象項目】 ■暗渠排水工事・湧水処理工事 ※暗渠排水工事を主体として評価する必要がある場合に適用する。 1. 仕上がりが良い。 2. 埋め戻しの状態が良い。 3. 通りが良い。 4. 暗渠排水の機能が發揮されている。 5. 構造物とのすりつけが良い。						●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項
		判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			【評価対象項目】 ■客土及び耕土搬入工事 ※客土及び耕土搬入工事を主体として評価する必要がある場合に適用する。 1. 全体的な仕上がりが良い。 2. 耕作上支障ある雑物が表面にみられない。 3. 小運搬にあたって、基盤の過度のこね回しをしていない。 4. 運搬道路、進入路等の運搬後の後始末が良い。 5. 土取場の採取後の後始末が良い。【購入土は対象外】 ※該当工種からの考査事項で考査し、最大考査事項は5項目とする。・・・採取土の場合 該当工種からの考査事項で考査し、最大考査事項は[4]項目とする。・・・購入土の場合						●判断基準 該当4[3]項目以上・a、該当3[2]項目・b、該当2[1]項目・c、該当1[0]項目以下・d 特記事項
		判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		☑の計 0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			【評価対象項目】 ■数砂利工事 ※区画整理工事の中で道路工を主体として評価する必要がある場合に適用する。 1. 通りが良い。 2. 数砂利面の仕上がりが良い。 3. 細部まできめ細かく仕上げている。 4. 全体的な美観が良い。						●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項

判定
※選択した工種の判定を選択
c

工事成績採点の考査別運用表

令和8年4月1日以降適用

別紙-3㉔ 工事番号:

(第3評定者)

考査項目	工 種	a		b		c		d	
		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ	コンクリート二次製品水路工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
	ため池工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当5項目以上・a、該当4項目・b、該当3項目・c、該当2項目以下・d 特記事項	
	水路補修工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当3項目以上・a、該当2項目・b、該当1項目・c、該当項目無し・d 特記事項	
	水道施設工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項	
	上記以外の工事	判定 c	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当4項目以上・a、該当3項目・b、該当2項目・c、該当1項目以下・d 特記事項	
多工種複合工事	※別紙-3㉔～別紙-3㉔の中から適宜様式を1種類(主たる工種のうち工事金額割合が1番多い工種を)選定して評価する。								

判定
※選択した工種の判定を選択
c